2021-2022
Vol.2

Lions Clubs International District 334-C

the Lion

ザ・ライオンタイムズ　DISTRICT 334-C

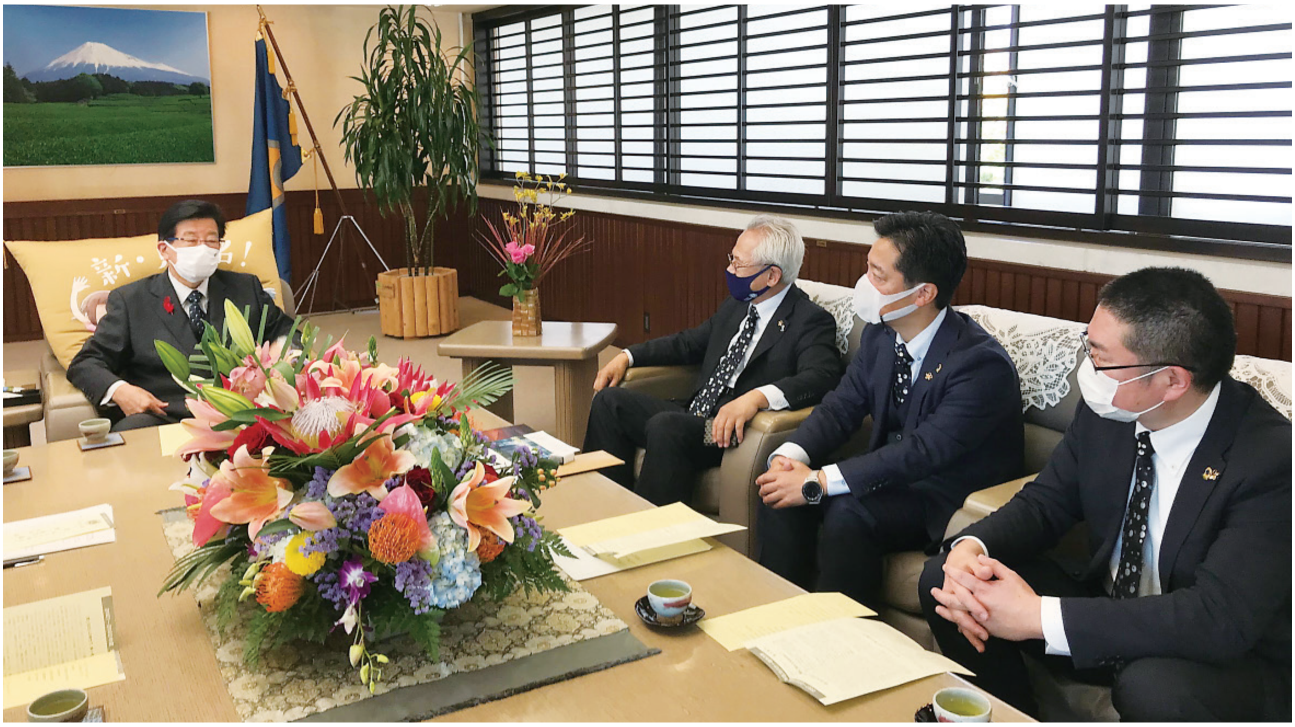
2021~2022 アクティビティスローガン

「愛と和の心の奉仕で、
夢と希望に満ちた未来を拓こう!」

■ 川勝静岡県知事表敬訪問
■ アクティビティ報告
■ 年次大会案内
■ 事務局だより

VISIT

県知事表敬訪問



2021年11月2日(火)に藤井嗣也地区ガバナーは、松田康太郎キャビネット幹事、河俣貴之キャビネット会計と共に県知事室に川勝平太静岡県知事を表敬訪問し、懇談しました。例年7月に実施している表敬訪問ですが、7月3日の熱海市土石流災害、その後のコロナ感染者拡大により、訪問日程が延期になりました。

名刺交換の後、藤井ガバナーから今年度の地区スローガンを「愛と和の心の奉仕で、夢と希望に満ちた未来を拓こう！」としたことと基本方針について説明するとともに、桜をモチーフとした334－C地区のガバナーピンとネクタイを贈りました。

基本方針の二宮尊徳翁の教え「至誠　勤労　分度　推譲」については知事も大変素晴らしいと共感され、知事の目指す「富国有徳」も二宮尊徳翁の教えを参考にしているとのことでした。

また、7月3日に発生した熱海土石流災害に関して、334－C地区から社会福祉法人静岡県社会福祉協議会に対する５百万円の寄付、全国のライオンズクラブからの寄付による熱海ライオンズクラブを通じて行われた被災者等への支援について、感謝の意が伝えられました。

川勝知事には大変お忙しいにもかかわらず、予定時間を延長して懇談の時間をとっていただきました。ライオンズクラブとしても「子どもの育成」を含め、地域社会への奉仕活動により一層取り組んでいかなければならないとの決意を新たにすることが出来、大変有意義な訪問となりました。

SPECIAL EDITION

思いを込めて伸ばした髪の絆

１Ｒ・１Ｚ　浜松ひかりＬＣ

ライオンズクラブでヘアードネーション活動を行っていることを知って、活動に参加してくれた中学1年生男子二村翠君とお父様の二村眞行さん、小学5年生の太田結さん。
翠君は元々肩程の長さの髪型だった。ふとお父さんが言った「せっかくならヘアードネーションしてみたら？」その言葉は翠君が初めて聞く
言葉だった。そこからヘアードネーションについて本などで調べ、病気で髪を失った人達に医療用ウイッグを贈る為に切った髪を寄付することだと知る。しかもウイッグを作るには20人から30人もの人達の長い髪が必要ということ。1人の髪で1つのウイッグが出来ていると思っていた翠君には衝撃だった。いざ伸ばし始めると、髪を何年も伸ばすことより人の目が嫌だった。「男なのに変」「いい加減に切ったら」「ここは男子トイレだぞ」そう言われなぜ人は自分の価値観を押し付けるのだろうと感じた。
そして「ヘアドネーションしているから髪を伸ばしている」という自分の価値観を押し付けているのではないかということにも気付けた。悩む翠君に「それならお父さんも髪を伸ばすよ。そうすれば何か言われても一緒に頑張れるんじゃないか」ヘアードネーションは人と人と繋がりあえる。僕の髪が誰かの役に立つ。そんな素敵な事ってないと思う！そんな気持ちになれた。しかし、寄付先がわからず困っていたところ、当クラブのL.末広さくらからライオンズクラブでヘアードネーション活動をしていることを聞き参加することを決めた。二人三脚で4年間髪を伸ばした事で翠君は４２センチを寄付することが出来た。
小学5年生の結さんは、かわいがってくれたひぃおばあさんが亡くなり「いつもほめてくれていたかみの毛を切りたくなかった。
という理由で小学3年から髪を切らなかった。しかし、髪を洗った後に乾かすのが大変になり何時まで伸ばすか悩んでいたところ、当クラブのL.初村則子から病気の人の役に立てるヘアードネーションを教えてもらい、それならばと切る決心をしてヘアードネーションしてくれた。
当クラブは、活動を知らない人達と繋がる事が出来たヘアードネーションをこれからも続け人の役に立てるこの活動を広めていきたい。

SPECIAL EDITION

第29回献眼者合同慰霊祭

１Ｒ・２Ｚ　袋井ＬＣ

袋井市油山寺にて「第29回献眼者合同慰霊祭」が令和3年10月16日に334C地区１Ｒ２Ｚ4Ｚ11クラブにて開催することが出来ました。

2Z・4Zの各クラブの持ち回りにて29回目の開催が出来ましたことは、ひとえに献眼者のご遺族様をはじめとして、静岡県アイバンクそして、各クラブのご協力とご支援のお陰と深く感謝を申し上げます。

袋井ＬＣは本年度ホストとしての役割を頂戴して、6月より準備を進めて参りました。昨年度は新型コロナ禍の中で、規模を縮小しての開催となりました。本年度は新型コロナ感染症が抑制されつつあると感じながらも、どのように進めていくことがよいか、判断することが難しい部分もありました。

７月２６日には２Ｚ・４Ｚの合同慰霊祭打ち合わせ会を開き、方針、内容を審議していただかなければなりませんでした。

クラブ内で委員会を重ねて、昨年同様に新型コロナ感染症対策を十分に行い、規模を縮小しての開催という方針に決まりました。当日に向けて諸準備を重ね、

前日には会場設営と当日の流れを把握しました。当日は曇り空となり、式典の開始前に小雨が降った程度で開催することが出来ました。

出席者は6４（ご遺族様17名、ご来賓3名、ＬＣ地区役員、ＬＣ会員44名）となり、油山寺ご住職の読経にて献眼者の皆様の御霊に手を合わせ、安らかなご冥福をお祈りいたしました。

式典の中では献眼者のご遺族代表の方にご挨拶をいただき、角膜移植を受けた患者様からのお手紙も紹介、披露をさせていただきました。今なお、角膜移植を待つ多くの患者様がいらっしゃることと、献眼という尊く勇気ある行いをして下さる献眼者の方とのご縁をつなぐ役割の重責を改めて感じることが出来ました。献眼者合同慰霊祭に際して、ご協力をいただいた皆様に深く感謝を申し上げます。

SPECIAL EDITION

サーラ音楽ホールオープン記念コンサート

１Ｒ・３Ｚ　奥浜名湖ＬＣ

奥浜名湖ライオンズクラブでは、地元浜松市北区に、2021年6月に新設された「サーラ音楽ホール」のオープンを記念し、12月12日にコンサートを開催しました。

7年前の５０周年記念式典の際に、コンサートを開催してから、今回で4回目となります。

このホールの建設が決まった際に、クラブ内で「是非オープン記念コンサートを！」という声が上がり、会員一同心を一つに準備を進めてまいりました。

当初は7月25日に開催する予定で準備しておりましたが、新型コロナウィルス感染症の状況を踏まえ、一度は10月に延期をしました。しかし、新型コロナウィルスの状況が落ち着いてから開催までの期間が短いことから、再度12月へと延期をしました。

当日は、お天気にも恵まれ、約450名のお客様がお越しくださいました。

地元浜松学芸高校の生徒さんよる3重奏、地元ピアニスト3名の美しい独奏、浜松出身のバリトン歌手による力強い歌声、そして最後には奥浜名湖ライオンズクラブ会員・ピアニストのL宮本久美子によるピアノ独奏が披露され、音楽の街「浜松」にふさわしい素晴らしい演奏が、ホールに響き渡りました。

お客様からは、「新しいホールに足を運ぶ機会をいただけて良かった」「素晴らしい演奏に感激した」といった声をたくさんいただき、浜松の音楽文化の発展にわずかではありますが、寄与できたのではないかと会員一同喜んでおります。

正会員10名という当クラブが、このようなコンサートを開くことができるのも、1R3Zの各クラブをはじめ、ご協力くださる方々があってのことです。その感謝の気持ちを忘れず、これからも地域のために頑張って行きたいと思います。

SPECIAL EDITION

中学校地域担任活動

１Ｒ・４Ｚ　御前崎ＬＣ

令和3年2月から5回にわたって、「地域担任」として市内の中学2年生に関わり、その健全な育成の支援を行いました。

地域担任とは、社会に開かれた学校づくりの一環として、生徒が学校内の教師だけでなく地域の大人とも関わることで、より多くの知見を得たり、地域に触れること、また生徒の悩み事の相談先となることを目的に、この中学校が率先して取り組んでいる制度です。

地域担任は５、６人の生徒を受け持ち、授業参観や面接などを行い、生徒とのコミュニケーションを図ります。

地域担任の第１回目は、高校入学試験本番さながらの模擬集団面接を行いました。生徒たちは非常に緊張した雰囲気の中で、精一杯自分の思いを伝えてくれました。

２回目以降は授業参観と面談を行い、生徒の成長を見たり、様々な話をしたり、悩みを聞いたりしました。

最初はなかなか話してくれなかった生徒も、５回目にもなると様々な事を話してくれるようになり、私達も生徒に対して様々な事を伝えることができました。

生徒と関わることで感じたことは、生徒の思いや悩み、関心事は、やはり千差万別だということです。

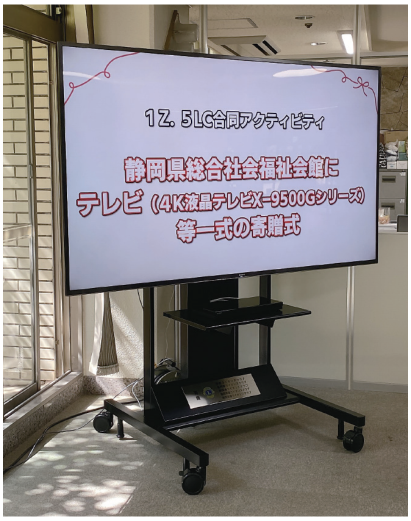
様々な生徒がいる中で、学校だけでは対処しきれない部分を私達が補い、地域をあげて青少年の健全な育成を考えていくことは、大変意味のあることだと思いました。

この地域担任の事業は令和４年度も継続することが決定しました。今回の経験を活かし、より良い活動とするためにどうすればよいかを考えていきたいと思います。

SPECIAL EDITION

静岡県総合社会福祉会館に大型テレビ等一式寄贈

2R・1Z　静岡青葉ＬＣ



2R1Zの静岡ＬＣ、静岡葵ＬＣ、静岡橘ＬＣ、静岡青葉ＬＣ、静岡芙蓉ＬＣの5ＬＣは、今年度の2R1Z・5ＬＣ合同アクティビティとして静岡県総合社会福祉会館シズウエルに大型テレビ、ブルーレイレコーダー等機器一式を寄贈いたしました。

こちらの福祉会館にはコロナ禍で困窮する人とつながり、支援をしている静岡県社会福祉協議会をはじめ、静岡県ボランティア協会、静岡県母子寡婦福祉連合会、フードバンクふじのくになど52団体が入居しておられます。1階ロビーに設置し、入居団体のみならず県域で活動している団体がそれぞれ作成した活動紹介の動画を来館者、研修で訪れる方々に大画面で見ていただいたり、さらに大規模災害発生時には県災害ボランティア本部・情報センターとしての働きが期待されているため、大型テレビモニターが災害時に利用が可能であれば、国や県行政、全国区のボランティア団体などとのオンライン会議をはじめ情報収集に大変有効に活用することが可能となります。移動可能となるキャスター付きスタンドにテレビモニターを設置し、コロナ禍でのオンライン会議や、研修会のDVD視聴などでも利用していただけることと思います。また、スタンドには5ＬＣのクラブ名を記した銘板を取り付けました。

2021年10月4日（月）、県総合社会福祉会館にて寄贈式が執り行われました。寄贈式には静岡県社会福祉協議会・常務理事　髙橋様、静岡県ボランティア協会・理事長　小野田様、事務局長　鳥羽様、ＺＣ、2R．ＭＣ・Ｌ情報・ＩＴ委員、5ＬＣより各会長等が出席されました。ZCより静岡県ボランティア協会・小野田理事長に目録を贈呈し、静岡県ボランティア協会からは感謝状をいただきました。

今後の地域社会福祉に役立つよう幅広く有効活用していただきたいと願います。

SPECIAL EDITION

クラブの奉仕活動参加で我々は輝ける

２Ｒ・２Ｚ　蒲原ＬＣ

全国のコロナ禍における対策として３つの密（密閉・密集・密接）を避け感染拡大防止に協力を求められる2020年から今日に至る社会情勢の中、クラブで取り組んでいる盲導犬育成支援事業も毎年活動拠点内で開催されて来た「蒲原宿場まつり＆産業フェア」が昨年に続き中止となったことで募金活動が出来ない事態になり例会時出席メンバー理解のもと募金を集めて来ました。そんな矢先由比漁港で「静岡ゆい軽トラ市」を開催するから募金活動をしたらどうか、と実行委員でもあるメンバーから提案があり第一回「静岡ゆい軽トラ市」の出店者向けの説明会に出席しました。これは立地条件のよさ由比の賑わいと地域の活性化につなげていけたらと考えたとのことで11月28日(日)の開催で25日の例会で協議し参加を決めました。由比での募金活動は初めてのことで早速参加の意思を表明、出店料は奉仕団体ということで免除されました。実行委員会ではのぼり旗やポスターも作成し、これにかける意気込みを強く感じました。軽トラックで乗り入れる販売業者５５店舗が参加し賑わいをみせました。11月28日は快晴で朝8:00漁港広場に現地集合し我々もＰＲに必要な旗他を乗せ軽トラックで乗り入れ、前に机を構え「蒲原ライオンズクラブ盲導犬育成支援活動」の印刷紙を差し込んだポケットティッシュを用意、配布チラシについては日本盲導犬協会富士ハーネスで用意してもらい募金箱はクラブにある1つと借用分2つの3つの募金箱で募りました。会場は東西に入口を設けディスタンスを守り我がクラブも人通りの多い場所で活動出来ました。由比漁港はさくらえびの秋漁期中でもあり、朝9:00からの正味４時間の呼びかけでその日募金箱には56,033円の善意が寄せられました。なお「ふれあい学習会」も11月から小学校2校にて実施出来ました。これからも我々は奉仕活動により楽しく輝けるメンバーでありたい。静岡ゆい軽トラック市実行員会の皆様ありがとうございました。

SPECIAL EDITION

沿道クリーン作戦

２Ｒ・３Ｚ　５クラブ合同ＬＣ

2021年～2022年の2R―3Z5クラブ合同奉仕作業として計画しました。

2021年6月、フードバンクと一緒に行う、「沿道クリーン作戦」を各クラブに依頼。10月10日にゾーンとして作業に取り組みました。

沿道で車道と歩道の間の草が目に付き、美観を外しておりました。「LCの力で、地元をキレイにしよう

との思いで、場所は各クラブで決めて頂き、基本片道2ｋmの沿道の草取り、ゴミ収集をしました。沿道の市民にも参加して頂く為、事前にチラシを各クラブ300枚、地図・日時を入れて配布。

当日は雨が降り出し心配しましたが、作業開始には雨もやみ、事前のチラシ配布なのか、商店主や高校生にも参加して頂きました。自分の店の前、出入り口は草を取ってくれたり、一緒に地域貢献として実施できました。又、メンバーも「久しぶりの作業」。草取りは必ず取っただけキレイになり、達成感が味わえます。

93歳のメンバーも参加して頂き、笑顔が見れました。コロナで例会もSTOPでしたが、「笑顔のメンバーとの出会いになり、楽しかった。

との声が聞けました。参加者全員の意見ですが、やって良かったとの事でした。

SPECIAL EDITION

“薬物乱用防止啓発” 活動

２Ｒ・４Ｚ　５ＬＣ
静岡駿府・静岡けやき・静岡リバティ・静岡弥生・静岡巽

2R4Z5LC合同アクティビティをコロナ禍であるが、令和3年10月27日18時より、しずぎんユーフォニアホールにて外部講師和田清先生をお招きして薬物乱用防止セミナーを行う予定でありました。昨今は、大麻（マリファナ）の乱用が若年層（高校生・大学生）に蔓延しており大変危惧している所です。タバコ感覚で安易に使用してしまいがちで、一回でも使用すると次々と使用したくなる依存性になってしまい、幻覚・妄想という精神病症状が表れてしまいます。大麻（マリファナ）は、ゲートウェイドラッグと言われており、次には覚せい剤へと移ってしまい取り返しのつかない事態になってしまいます。この様な観点から、高校生・大学生を対象に薬物に対する認識を高めてもらいたく計画を致しました。（夜のセミナーの為、高校生は不可）大学生のみ受講して頂く予定であったが、静岡県も緊急事態宣言が発令され見通しが立たず、苦渋の決断をし、中止する事と致しました。

本来5クラブのチャリティゴルフ大会での協力金にて実施する予定であった為、その協力金の使途を検討した結果、薬物乱用防止活動・薬物により罪を犯し更生するべく、薬物更生対象者の保護観察活動を行っている、葵区・駿河区・清水区の3保護司会に各11万円寄贈する事とし、10月27日14時よりアイワビル4階会議室にて5LC各会長、3保護司会会長、保護観察所石川所長に御出席頂き、贈呈式を挙行致しました。

今後は、薬物乱用者が絶対に出ない活動をしてまいりたいと思います。

SPECIAL EDITION

こども食堂の支援

３Ｒ・１Ｚ　沼津５ＬＣ

沼津と沼津千本・沼津香陵・沼津中央・沼津駿河の沼津5ライオンズクラブは、合同事業としてこども食堂の支援をすることを決定しました。４年程前に大岡こども食堂に寄付をしましたが、その後は何もしていなかったので改めて調べると、コロナ禍で生活苦を余儀なくされているひとり親の家庭など困っている人達にボランティアで食事を提供するこども食堂が沼津市内に４か所ありました。そこで現地に伺い各こども食堂で必要としている物を聞いて支援することにしました。

ボランティア団体「最初の一滴」（杉山真砂美代表）が開く「大岡こども食堂」はビュッフェ形式での食事提供がコロナ禍でできない為、一人分を盛り付ける軽くて丈夫な盛り合せ皿が必要ということで70枚を贈呈しました。

同食堂は、沼津市内初のこども食堂として2016年に活動を始め、毎月第2土曜日に大岡地区センターで開催しています。ボランティア10余人が１００人分を調理し提供しています。早速、寄贈されたお皿を使い栄養たっぷりの料理を振舞い、おいしそうに子供たちは食べていました。

杉山代表は「支援は活動の充実になり、大変ありがたい。地域に住む子どもからお年寄りまでが交流を始めるきっかけとなる場にしていきたい」と話していました。

また同様に活動する大中寺こども食堂（毎月第２金曜日開催）には食材としてすき焼き用のお肉、こども食堂心（毎月第３日曜日開催）にはお子様にクリスマスプレゼントとしてお菓子の詰合せ、真楽寺かわうそ堂（毎月下旬開催）には食材として唐揚げ用のお肉を提供し、いずれも親子の皆様に喜んでもらいました。

こども食堂は食事を提供するだけでなく、子供の遊び場そして親同士またボランティアとの会話の機会を提供する大事なコミュニティの場所になっていると感じました。

SPECIAL EDITION

フードバンク寄贈について

3R・2Z
富士吉原LC,富士岳南LC富士タカオカLC,富士中央LC,富士マウントLC

現在76クラブが一斉に動く「統一奉仕の日」で食料支援に取り組む「認定NPO法人フードバング ふじのくに」へ食料品の寄贈を今年も、富士市内のライオンズクラブ５団体（富士吉原、富士岳南、富士タカオカ、富士中央、富士マウント）にご協力いただき、各クラブメンバーへの積極的な呼びかけのお陰により、レトルト食品やカップラーメン、菓子など計８１箱を購入し、富士商工会議所において贈呈式を行うことができました。

式においてはNPO法人フードバンクふじのくにの方にお出迎えいただき、５クラブのメンバーの方々にも贈呈品の運搬にご協力いただきました。

今まで以上に厚いご支援ができたことを大変うれしく思います。また、ご協力いただきました皆様に感謝を申し上げます。

しかし、新型コロナウイルス感染の影響で生活困窮者が食料の確保に頭を悩ませている状況は続いており、2020年に寄せられたフードバンク利用相談は前年の２倍となる約6千件と言われており、延べ支援世帯数はコロナ前の2019年度からコロナ後の２０年度にかけて倍増しているといわれております。

常に食料が不足しているという、深刻さの度合いが増している状況であります。

この状況を少しでも改善するためにも、これからも継続して、市内５クラブ団結し、この支援の輪を大切にしていくとともに、ライオンズクラブの地域社会への更なる認知と同じ志を持つ新たな有志が集う活動の輪も広げていければと思っております。

SPECIAL EDITION

CN50周年記念事業とヘアドネーションの推進

3R・3Z　長泉ライオンズクラブ

長泉ライオンズクラブはCN50周年を迎え、令和3年2月14日にホテル エルム リージェンシーにおいて記念式典を開催しました。我がクラブは、昭和46年2月14日に沼津千本ライオンズクラブをスポンサーとして創立し、チャーターナイトが催されてから半世紀となる50年が経過しました。

CN50周年記念行事を実施するにあたっては、実行委員会を立ち上げ約半年間の準備を行って来ました。記念誌の編纂は50年間の活動記録を後世に伝えられるように作成し、記念事業としては長泉町が推進するSDGｓに同調して長泉町商工会館前のライオンズ塔を「持続可能な社会を目指して」の標語にリニューアルするとともに、ＪＲ長泉なめり駅前には長泉町の持続可能な発展を願ってナツツバキ（夏椿）を記念樹として植栽しました。また、記念式典の開催にあたっては新型コロナウイルスの感染が続く状況であったことから祝賀会を取りやめ、最小限の招待者にご参列いただいて式典のみの開催とすることとし、静岡県副知事の難波喬司氏を講師とした特別記念講演会とヘアドネーション感謝状の贈呈式を組み込みました。

ヘアドネーションの推進に関しては長泉ライオンズクラブが取り組みをはじめて昨年度は2名の方から提供をいただきました。髪の毛を提供していただいた中学1年生の若林慧磨さんにはCN50周年記念式典にお母さんとともに参列していただき、感謝状をお渡しするとともに、しっかりとした口調で感想を述べて頂きました。このような取り組みからクラブメンバーのヘアドネーションに関する関心がより高まり、声掛けによってヘアサロンの協力を得たりして提供者が急増しています。

長泉ライオンズクラブがこのように限りない奉仕活動を半世紀にわたり続けてこられたことは、先輩会員方々のご努力とともにご支援ご協力をいただいてきた多くの皆様のお陰によるものと心から感謝申し上げます。

SPECIAL EDITION

清らかな子供たちに繋ぐ“こども食堂事業”

３Ｒ・４Ｚ　富士宮ＬＣ

富士宮ライオンズクラブは、会長スローガン「清らかな地球を子供たちに繋ぐ地域奉仕」のもと、活動方針の一つでもある持続可能な開発目標「SDGｓ」の考えを取り入れた地域奉仕として、子ども食堂を10月から12月までに3回実施しました。様々な家庭環境で暮らす子どもたちへ食事を提供することで、孤食の解消、滋味豊かな食材による食育、地域交流の場作りの支援等、新たに始めた事業で手探りでしたが、毎回130名ほどの子どもや親が来場して下さいました。本来の目的からしますと、当クラブのメンバー達とその場で食事やレクリエーションなどを行いたかったのですが、コロナ禍と言うことでカレーなどの配布とSDGｓを題材に取り入れたクイズを行い交流を深めました。そんな中でも回数を重ねる事で、地域の方々に認知していただき12月18日に行われた３回目開催には、富士宮菓子組合様のご協力もあり、クリスマスケーキをボランティアの高校生とともに提供をする事ができました。

現在富士宮市に子ども食堂は、年に数回ごく少数の子ども達に提供している状況です。最終的には賛同して頂ける方々と共に、物心両面での支援をする事が私たちクラブの地域奉仕事業と考えます。

富士宮市にも子ども食堂を必要とする子ども達が少なからずいます。家庭環境や経済的事情等で、食事が取れないのです、子どもに親は選べません。この事業で、どうしたらこども達に食事を提供できるか模索しているところです。未来ある子ども達に等しく食事をして頂く事が願いです、まだ種を蒔いたばかりで結果が出るのは先の事ですが、子ども食堂を必要とする子ども達がいる限りこうした事業奉仕活動は必要だと考え、今後も年数回実施して行く予定です。

SPECIAL EDITION

ＣＮ６０周年記念　第４３回学童野球新人戦

４Ｒ・１Ｚ　伊東ＬＣ

伊東ライオンズクラブは、今年で創立６０周年を迎え、様々な記念事業を行いました。

中でも、今年で43回目となる学童野球新人戦大会は、伊東クラブの事業において先輩方から継続して」取り組んできた青少年健全育成事業であります。現在少子高齢化において各チーム子どもが少なくチーム編成も大変ではありますが、市内７チームと今年は熱海から１チームを招き無事大会を開催することができました。約2年間に及ぶ新型コロナウィルス感染症の影響により、練習時間も限られた状況ではありましたが、各チームきびきびとした動きの中で2日間素晴らしいグラウンドと天候の中手に汗握る、試合を見せてくれました。ここ数年は女子の活躍も目立ち特に5年生は、男子にも負けないプレーをしていました。

創立60周年記念大会として、各チームに試合球１ダースと野球連盟少年部には、球数を数えるスポーツカウンターを寄贈いたしました。

また、2日目の準決勝・決勝では、各試合終了後に表彰を行い、クラブメンバーの金属加工会社で作成したと、60周年特製メダルを一人一人に手渡し、賞状と優勝チームには優勝旗が渡されました。2日間にわたる子どもたちの熱戦を見ていると、われわれも元気をもらった気がいたします。今後、少子化の影響により各チーム毎年の編成ができるかどうか心配ではありますが、この大会が50回、100回と継続できるようクラブとしても、応援していきたいと考えております。

子どもたちの勝った時の笑顔と、負けた時の悔しさが子どもたちの成長の糧になることを願うとともに、１日も早く新型コロナウィルス感染症の拡大が収まることを祈念いたします。

SPECIAL EDITION

静岡県立伊豆の国特別支援学校・楽器寄贈

４Ｒ・２Ｚ　韮山ＬＣ

当クラブ結成以来、奉仕作業を続けてきました静岡県立東部特別支援学校が隣の新しい土地に新築移転し、その跡地に静岡県立伊豆の国特別支援学校が新たに新築されました。

4月14日に開校記念式典が華やかに執り行われました。その時、早田公子校長先生のご挨拶の中で、『このコロナ禍の中で、子供たちの音楽の授業で声を出して歌うことが出来なくて困っています』とのお話を聞き、後日、面談・協議の上、子供さんたちに楽器の演奏を練習してもらうのはどうだろうということになりました。

クラブのメンバーに相談したところ、開校記念に楽器を贈呈しようと例会にて決定しました。

そして楽器の選定に入りましたが、この学校に通う子供さんたちは、知的障害を持っておられるため、一般的な楽器では演奏が難しいということがわかりました。

そこで、先生方の協力を得まして、叩いたり振ったりして、音の出る楽器（ハンドウッドブロック、ベルハーモニー、ハンドベル、ツリーチャイムなど約２０点）を選んで頂き、先日１０月２６日に無事に贈呈式を執り行うことが出来ました。

楽器が揃うまでは、他の学校から借りて授業を行っていたそうですが、これからは自分たちの楽器で音楽の授業を行うことが出来ます。

まだまだ自由に大声で歌うことが出来ない世の中ですが、楽器を演奏する子供たちの笑顔が目に浮かぶようです。

（１枚目・高等部学習発表会／２枚目・小学校音楽の授業風景）

2021〜2022 アクティビティスローガン

愛と和の心の奉仕で、
夢と希望に満ちた未来を拓こう!

ライオンズクラブ国際協会334−C地区

第68回年次大会

2022年4月24日(日) 会場:グランシップ・中ホール(静岡市)

ライオンズクラブ国際協会334-C地区

第68回年次大会へのお誘い

ライオンズクラブ国際協会
334-C地区
2021-2022地区ガバナー

藤井嗣也

昨年はコロナウイルスの蔓延により、例会も充分に開催することが出来ず、対面活動や集団活動も制約を受け、多くの困難を強いられた一年ではなかったでしょうか。暮れに向かって収束の兆しも有りましたが、再び新たなオミクロン株の感染拡大が懸念される事態となってきました。しかしその様な中にあっても地区年次大会の開催準備を怠るわけには参りません。本年度の第68回地区年次大会は、4月24日静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)の中ホールにおいて、万全の注意を払って開催する予定です。

代議員会を経て次期地区ガバナー、第一第二副地区ガバナーを選出します。大会式典では今年度の奉仕活動の総括をし、年次表彰をして各クラブの活動を讃えます。そしてアトラクションの部は、和太鼓の第一人者である林 英哲と 英哲風雲の会 による太鼓演奏を予定しています。どうぞご期待ください。また、チャリティゴルフ大会は、3月16日沼津ゴルフにて開催します。こちらも奮ってご参加下さい。

ライオンズクラブ国際協会
334-C地区
第68回地区年次大会委員長

山田博久

いよいよ年次大会が近付いてまいりました。オミクロン株の感染拡大は懸念されますが、無事に大会が挙行できますことを願いつつ、準備に勤しんでおります。

直近2回の年次大会は、新型コロナウイルス蔓延防止のため、やむなく中止あるいは短縮となってしまいましたが、今回こそは、従来通りの規模で、皆様方に喜んでいただける内容にしたいと考えております。大会のテーマは二つ、皆様方に最後まで楽しんでいただくことと、開かれた大会にすることです。そのために、アトラクションを式典の後にもってきました。和太鼓奏者の林英哲氏は、2000年にはドイツ・ワルトビューネでベルリン・フィルと共演するなど、現代音楽の分野でも前例のない和太鼓ソリストとして国際的に高い評価を得ております。皆様方には是非、この機会に、芸術の域にまで高められた和太鼓の演奏をお楽しみいただきたいと思います。また、和太鼓の練習に励む青少年を招待して、憧れの演奏に触れる機会を提供したいとも思っております。どうぞ、ご期待ください。

第68回年次大会プログラム

第68地区年次大会記念 チャリティゴルフ大会

3/16〔水〕

ところ／沼津ゴルフクラブ
沼津市足高字尾上441番地
TEL.055-921-0611

- 受付／7:00～
- 参加者登録料／6,000円
- プレイ代／14,000円 ※予定（食事、キャディー付き）

沼津ゴルフクラブ

地区年次大会

4/24〔日〕

会場／グランシップ・中ホール
静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号　TEL.054-203-5710

1. 委員会（資格証明・議事運営・指名選挙）

- 登録受付／10:30~10:40
- 委員会／10:40~10:50
- ところ／グランシップ 中ホール 楽屋6

2. 代議員会

- 登録・投票／10:30~11:10
- 代議員会／11:30~11:50
- ところ／グランシップ 中ホール

3. 大会式典／アトラクション

- 登録受付／10:30~12:00
- 大会式典／12:30~14:00
- アトラクション／14:30~15:30　林英哲と英哲風雲の会
- ところ／グランシップ 中ホール

アトラクションのご紹介

林 英哲
日本の伝統にはなかった前例のない太鼓ソリストとして、世界のアーティストやオーケストラと共演しながら、日本から世界に向けて発信する新しい「太鼓音楽」の創造に取り組む。昨年はサントリーホールで演奏活動50周年の独奏の舞台を行った。また2020年、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」テーマ曲、劇中曲でのソリストとして参加、NHK交響楽団と競演を行う。英哲風雲の会も劇中の合戦シーンでの陣太鼓の作調、出演も果たし、話題を呼ぶ。

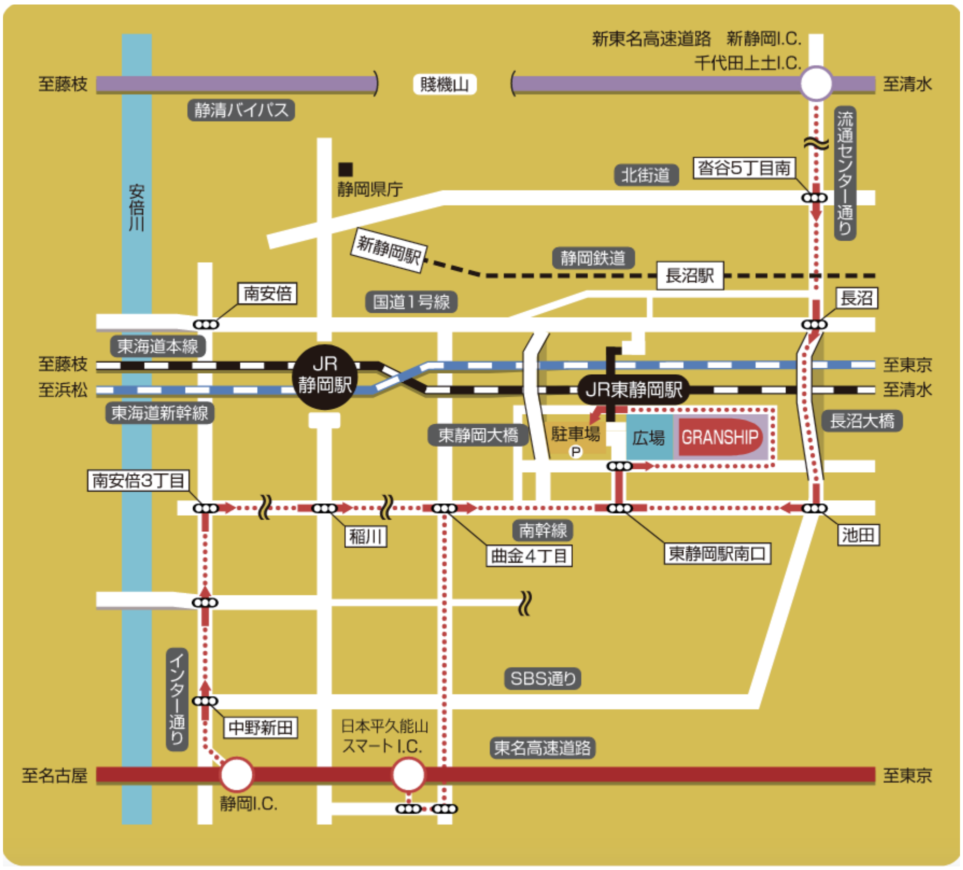
林英哲

英哲風雲の会

会場のご案内

登録料	参加者1名 2,000円
お申込先	第68回年次大会事務局（キャビネット事務局） 電話. 054-286-8922　FAX. 054-286-8919 メール　webmaster@lions334-c.org
登録料振込先	静清信用金庫・本店　普通預金0320534 ライオンズクラブ　国際協会３３４-C地区 キャビネット会計　河俣 貴之（カワマタ タカユキ）

地区年次大会会場MAP



第68回 地区年次大会 2R4Zホストクラブ

静岡駿府ライオンズクラブ　静岡けやきライオンズクラブ　静岡リバティライオンズクラブ
静岡弥生ライオンズクラブ　静岡巽ライオンズクラブ

ライオンズクラブ国際協会334-C地区
第68回年次大会事務局（キャビネット事務局）
〒422-8067 静岡市駿河区南町第一ビル3階

［ご連絡先］　電話.054-286-8922　FAX.054-286-8919
メール webmaster@lions334-c.org　URL https://www.lions334-c.org

INFORMATION

事務局だより

2021~2022年度　第3回キャビネット会議報告

2021～2022年度第3回キャビネット会議が1月25日(火)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。
詳細は，資料と議事要録でご確認下さい。

キャビネット会議会場

《協議事項》

１．２０２１～２０２２年度地区会計中間報告並びに監査報告
２．第８回SON(スペシャルオリンピックス)協賛金について
３．次期地区役員・クラブ三役セミナー実施について
４．第68回地区年次大会議事規則・代議員議事運営構成表・当日投票実施手順・年次表彰規定の確認について
５．第68回地区年次大会・前当日スケジュール並びに分担・使用会場控室等について
６．次期地区ガバナー及び次期第一・第二副地区ガバナー立候補者承認並びに，次期キャビネット幹事・会計予定者について

キャビネット会議議事要録をはじめ，地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開されます。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。パスワードはクラブ事務局又はキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

２０２２年春季・夏季ＹＣＥプログラムは中止

全世界コロナ禍の影響によりYCEプログラムは全面中止となります。

２022年２月～地区キャビネットスケジュール

- ２/１０(木)　薬物乱用防止教育認定講師研修会
- ２/１４(月)　ＬＣＩＦセミナー
- ３/　８(火)　第４回ガバナーチーム会議　年次表彰最終審査会
- ３/２２(火)　第４回キャビネット会議
- ４/２４(日)　第６８回地区年次大会
- ５/２９(日)　第６８回３３４複合地区年次大会
- ５/２６(木)　次期地区役員・クラブ三役セミナー

◆表紙について

今年度のテーマは「水」です。

柿田川公園　（駿東郡清水町）

2021年8月～2022年1月　物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ	逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
10月　６日	Ｌ　楠　田　一　博	（榛　南ＬＣ）	11月１１日	Ｌ　石　倉　勇　夫	（天城湯ヶ島ＬＣ）
10月　８日	Ｌ　土　屋　勝　彦	（沼津駿河ＬＣ）	12月　７日	Ｌ　齋　藤　寛　一	（御　殿　場ＬＣ）
10月１５日	Ｌ　太　田　正　博	（清水羽衣ＬＣ）	12月１５日	Ｌ　鈴　木　英　生	（浜松リバティＬＣ）
10月２７日	Ｌ　柴　田　尚　明	（静　岡ＬＣ）	12月３１日	Ｌ　石　井　洋　治	（静岡青葉ＬＣ）
11月　９日	Ｌ　滝　浪　龍　司	（静　岡ＬＣ）			

THE LION

ザ・ライオンタイムズ

2021-2022 VOL.2

発行日／2022年1月31日　発行者／地区ガバナー 藤井嗣也　編集者／MC委員長 淺場雅樹　発行／ライオンズクラブ国際協会334-C地区（静岡県）　MC・L情報・IT委員会
〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町6-1南町第一ビル3階　TEL（054）286-8922　FAX（054）286-8919
URL http://www.lions334-c.org　E-mail webmaster@lions334-c.org